

野菜ともだち通信

No.966

2024/2/8（木）あらき農園 Tel.080-1366-8984

2/2（金）今年も東葛看護専門学校の学生さん6名と先生お二人が農業体験に来てくれました。色々な職業の方と接する看護師として、労働現場を体験し、命とつながる食について考えるという狙いです。若い皆さんと一緒に作業はボランティアの皆さんも私達も心がはずんだ楽しいひと時でした。皆さんの感想の一部をご紹介します。

- ・野菜1つ作るのに沢山の工程があってとても驚きました。また、出荷作業にも携わらせていただきこれから野菜の見方がとても変わりました。（葵さん）・堆肥を作る工程では、何度も同じ作業を繰り返し行うことをやって、1年の時をかけてあんなにサラサラな土になることで使えるようになることを知った。その土が未来の野菜のこやしになる。（涼さん）・今、食べることができるのは、草むしりをして、「一つの野菜を育てる」この過程があって私たちは食べられている、農業体験がなければ知ることができなかった。（大和さん）・頂いた野菜は大切に食べたいと思います。スーパーに並んでいる野菜や食べ物の表示などにもこれから目を向けていこうと思います。（麗さん）
- ・今回の農業体験では草刈りと堆肥積み、カブ・人参・大根を収穫した。全体を通して感じたことは、これだけ重労働なのに利益がないというのは見合っていないと感じた。（櫻さん）・生産者の方を減らさないためにも、自分達も声を上げていかなければいけないと感じた。（祐さん）



堆肥積み

お届けの野菜 ひとみ人参・紫大根・小松菜・ねぎ・なばな・その他

簡単レシピ 紫大根と豚肉のみそ炒め

- ① 豚肉を炒めて取り出す。（ニンニクも入れる。）② 1～2cm厚さのイチウ切りにした紫大根を入れて炒める。（フタをしたほうが良い。）③ 豚肉をもどして調味する。味噌大2、みりん2、砂糖小2をといてからフライパンに入れて炒める。（容子さん）



作業日誌

葱・レタス・サニーレタス・キャベツ・カリフラワーの種を育苗ケースにまく。トマトの種を育苗ケースに撒いて電熱シートで温める、小松菜と大根の種を畑に播いてビニールトンネルにする、キャベツの草取りと土寄せ、去年の堆肥を掘り出して、新たに堆肥づくりをする、絹サヤとスナップえんどうの草取り、耕運など。

絹さやの草取り

2月の絵本紹介 市川の野菜ともだちの田中さんの紹介です。

「ぞろりぞろりとやさいがね」（ひろかわさえこ 作 偕成社）

おいしいお野菜を頂いているのに、つい、無駄にしてしまう時もあるのが本当のところ（反省）そんな時に会った絵本です。

使い忘れたられた野菜たちが腐りかけた自分に嫌気がさし、人間への反乱をおこそうとした時に現れたみみず和尚の「くさったといえども、おまえたちは、えいよういっぱいのおいしいじゃ。まだまだやくになつぞ」「つちからいのちをもらったものは、つちにかえってつちをこやす。それがしぜんというものじゃ」という教えのもとに大きな穴に入り、じっと土の中で過ごし、次の年にはおいしい野菜を生むというお話です。土に入るために穴に入っていく野菜たちの幸せそうな顔。未来への希望が生まれたんですね。この本を知ったのは、ひろかわさえこさんの講演会でした。本の紹介の中で、ご自身のお子様の不登校の経験をお話され、「人間も成長の過程でつらい時にえいやって布団にもぐって、そのつらい気持ちと向き合いながらもじっと出られる時を待って過ごす時間があっても良いのではないかと思う」とおっしゃっていました。本当にその通りですね。つらいけど、見守りたい。



希望が生まれたんですね。この本を知ったのは、ひろかわさえこさんの講演会でした。本の紹介の中で、ご自身のお子様の不登校の経験をお話され、「人間も成長の過程でつらい時にえいやって布団にもぐって、そのつらい気持ちと向き合いながらもじっと出られる時を待って過ごす時間があっても良いのではないかと思う」とおっしゃっていました。本当にその通りですね。つらいけど、見守りたい。

2/22（木）大根・ねぎ・ほうれん草・小松菜・人参等 野菜の傷みや代えて欲しい野菜がありましたらご連絡頂けると助かります。